

## 種類別の主な用途

(SHASE-S 209-2009) 機能区分の詳細は下記をご参照ください。

マンホールの種類および機能区分		屋内槽類					屋外槽類					排水ます(桧)・その他						
		汚水・雑排水槽	ゆう(通)水槽	雨水槽	消火用水槽	雑用水槽	飲料用水槽	汚水・雑排水槽	雨水槽	消火用水槽	地下油槽	雑用水槽	屋内汚水・雑排水ます(桧)	屋外汚水・雑排水ます(桧)	集水ます(桧)	雨水ます(桧)	浄化槽類	ハンドホール
マンホールふた	水封形						○	○					○		○	○		
	簡易密閉形(パッキン式)		○	○	○	○	○		○		○		○			○	○	○
	密閉形(ボルト・パッキン式)	◎	◎	◎			◎											
	密閉形(テーパ・パッキン式)	○				○	○		○	○	○	○						○
床化粧マンホールふた	簡易密閉形(パッキン式)		○	○	○	○	○		○		○		○			○	○	○
	密閉形(ボルト・パッキン式)	○				○	○		○	○	○	○						○
インターロッキングブロック用化粧マンホールふた	簡易密閉形(パッキン式)												○	○	○			○

注) ◎:圧力がかかると予想される場合

## 機能区分

マンホールカバーの防水、防臭機能はその効果の度合いによって下記の4種類に分類されています。使用場所やその効果の程度によって最適なものをご使用ください。

※機能表現の用語はSHASE-S規格を引用しております。

1	<h3>水封形(防臭型)</h3> <p>受枠トラップ部のたまり水によって、防臭効果を発揮する構造です。常にたまり水が確保できる場所に適しています。なお、ゴムパッキンは装備していません。</p>	<p>トラップ たまり水</p>
2	<h3>簡易密閉形(簡易防水・防臭型)</h3> <p>蓋の自重によってゴムパッキンを圧着し、内部への漏水を防止する構造です。例えばバケツの水を撒いた時の漏れはしたたる程度です。水下など水のたまりやすい場所に設置された場合、漏水量が増す可能性があります。屋外用としての防水・防臭機能は最も一般的なものです。</p>	<p>ゴムパッキン</p>
3	<h3>密閉形(防水型・防臭型)</h3> <p>ゴムパッキンを介して蓋と受枠をボルトまたはバーで締め付けて密着させ、防水・防臭性能を保つ構造です。また、テーパ蓋、枠にゴムパッキンを介して密閉するもの、二重蓋で下部蓋を締め付け、さらに排水ソケットを装備した構造のものもあります。水圧のかからない屋内・外のあらゆる場所で、通常使用に優れた機能を発揮します。</p> <p>施工・保守時は終了後ゴムパッキンを介して蓋と受枠がしっかり密着するように周囲を掃除のうえ、ボルトを締めてください。</p>	<p>締付ボルト ゴムパッキン</p>
4	<h3>耐水圧防水型・防臭型</h3> <p>3に準じますが、蓋に水圧力(特に内圧力)が加わる場所に適します。</p>	<p>締付けボルト ゴムパッキン</p>